

一般国道19号

さくらざわ 桜沢改良 (道路事業)

説明資料

令和8年6月19日

中部地方整備局
飯田国道事務所

目 次

1. 事業概要

- (1)事業目的 P 1
- (2)計画概要 P 2

2. 評価の視点

- (1)事業効果の発現状況 P 3
 - ①交通量の変化 P 3
 - ②信頼性の高い道路ネットワークの構築 P 4
 - ③安全な交通の確保 P 5

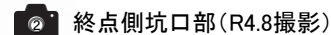
3. 社会経済情勢の変化

- (1)沿線の生活・交通環境の改善..... P 6

4. 対応方針(原案)..... P 7

(1)事業目的

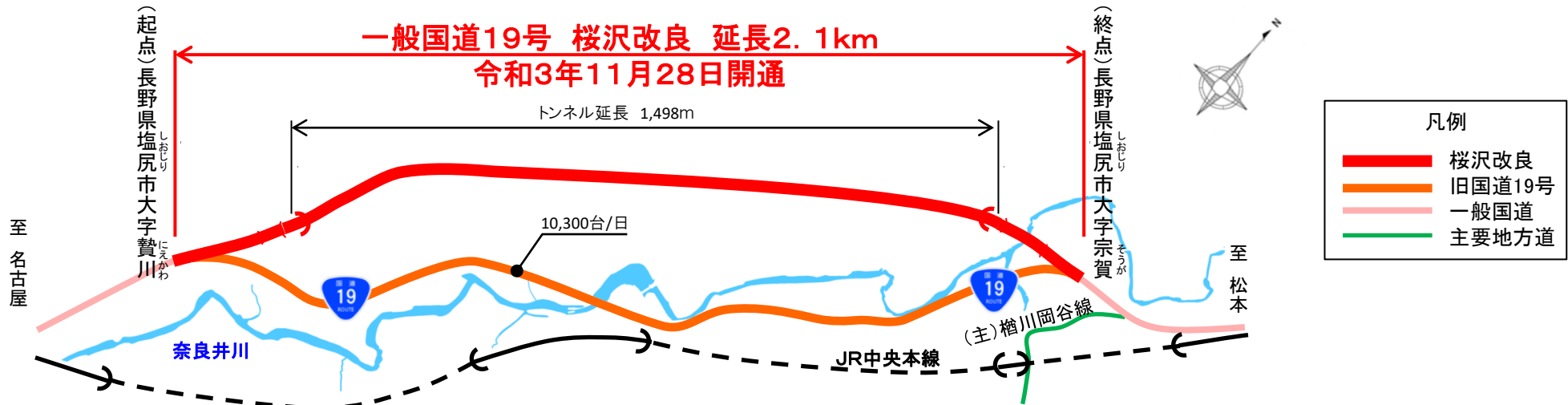
- 桜 沢 改 良 の 全 体 位 置 図



1. 事業概要

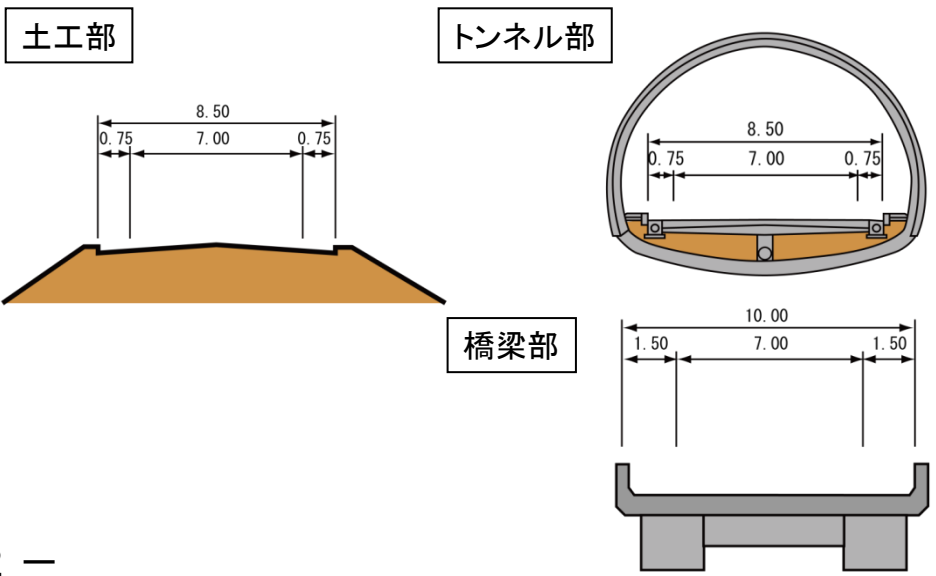
(2) 計画概要

■一般国道19号桜沢改良は、平成19年度に事業化し、令和3年11月28日に開通しました。



事業名	一般国道19号 桜沢改良
延長	2.1km
道路規格	第3種第2級
設計速度	60km/h
車線数	2車線
事業化	平成19年度
用地着手年度	平成21年度
工事着手年度	平成24年度
工事完成年度	令和3年度
全体事業費	105億円
計画交通量	11,000台/日

標準断面図

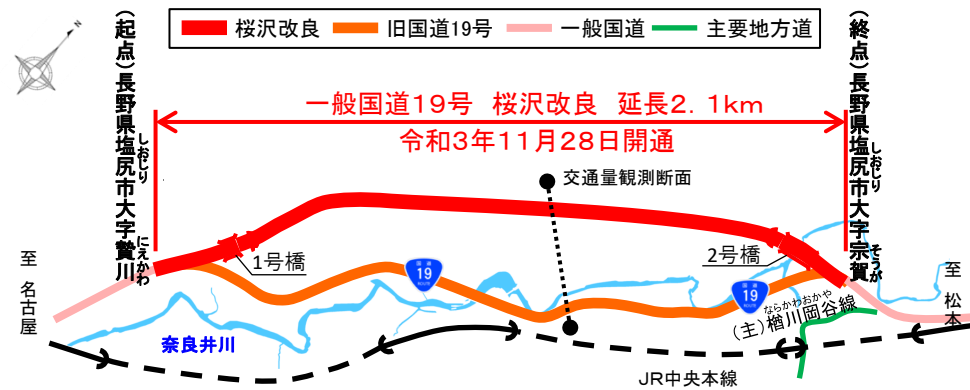
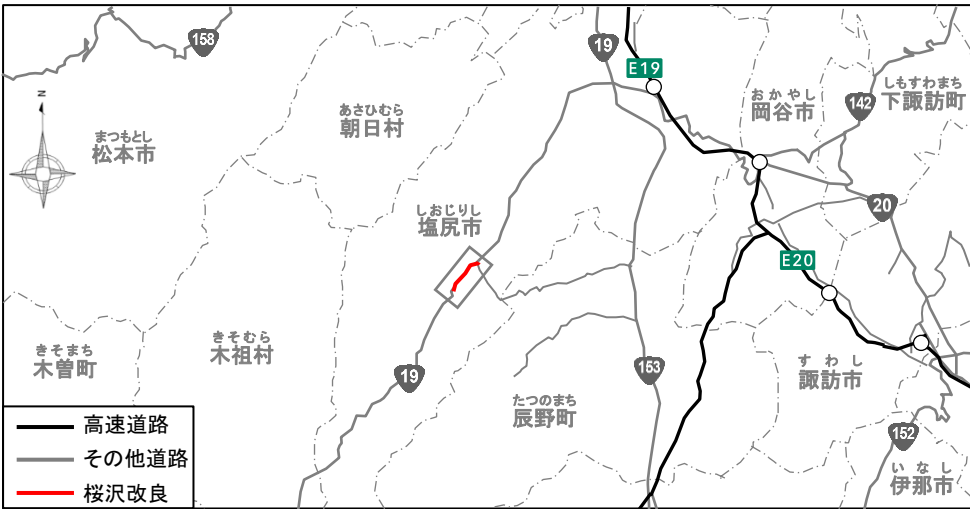


2. 評価の視点

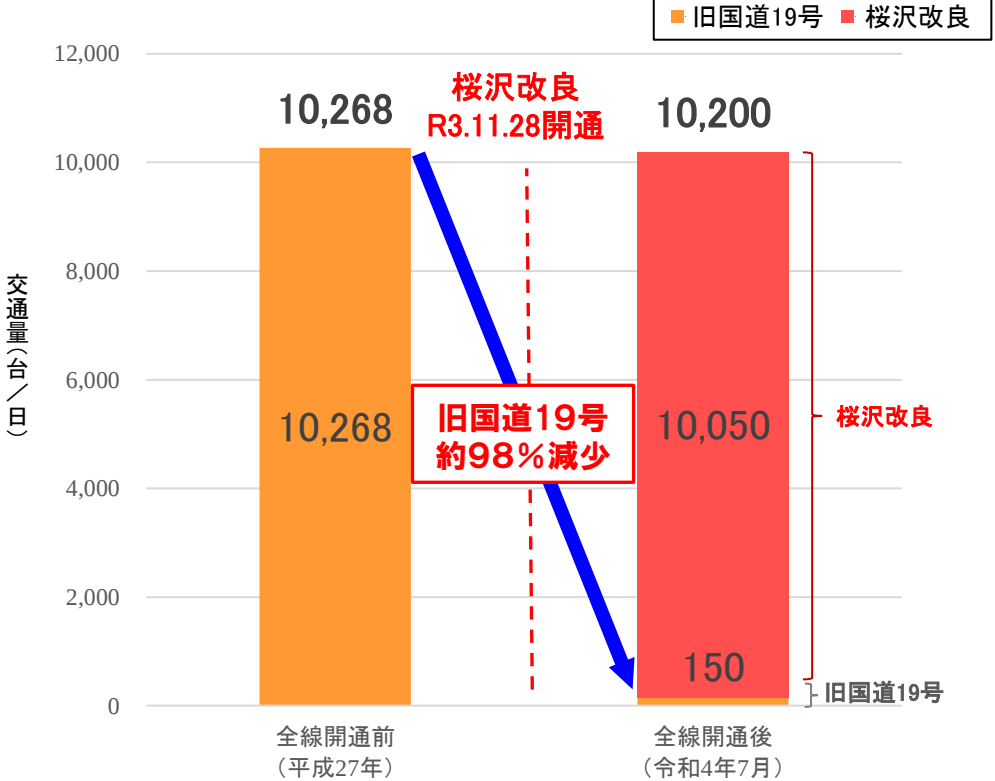
(1) 事業効果の発現状況

① 交通量の変化

- 国道19号桜沢改良が開通し、幹線ネットワークの拡充が図られています。
- 国道19号桜沢改良の開通により、旧国道19号を走行していた車両の9割以上が減少し、国道19号桜沢改良へ転換しました。



● 交通量の変化



出典：全線開通前 全国道路・街路交通情勢調査 (H27)
全線開通後 交通量調査結果 (R4.7.7 24時間)

2. 評価の視点

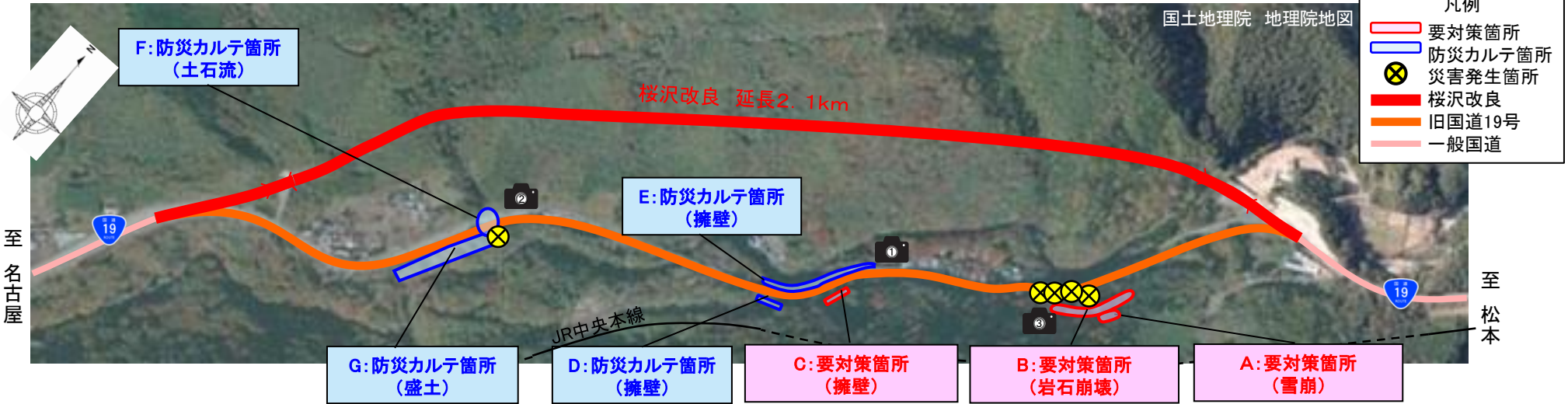
(1) 事業効果の発現状況

②信頼性の高い道路ネットワークの構築

■旧国道19号(市道旧国道片平桜沢線)には、急傾斜地の崩壊・落石等の危険性がある要対策箇所が3箇所、道路災害の危険要因がある防災カルテ箇所が4箇所存在し、大雪による雪崩や土石流発生など計5回の被災履歴があり、平成26年2月の大雪による雪崩では、27時間にわたり全面通行止めとなるなど、信頼性に課題がありました。

■桜沢改良の整備により、代替ルートが確保され、信頼性の高い道路ネットワークが構築されました。

●旧国道19号の要対策箇所、災害履歴



●旧国道19号の被災履歴

H13.1 大雪による雪崩発生
約30時間全面通行止め

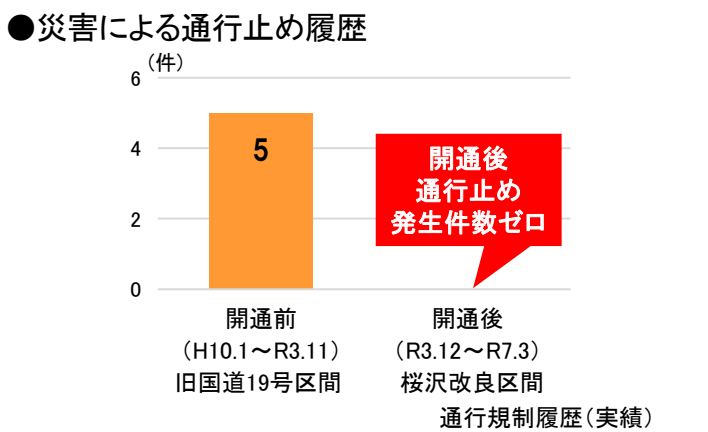
H13.1撮影

H18.7 大出水・冠水/土石流発生
約4時間全面通行止め

H18.7撮影

H26.2 大雪による雪崩発生
約27時間全面通行止め

H26.2撮影



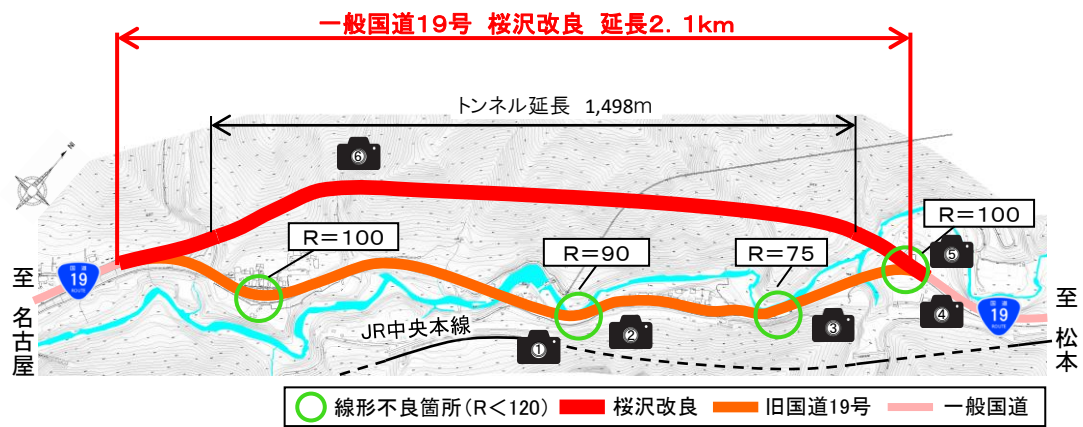
2. 評価の視点

(1) 事業効果の発現状況

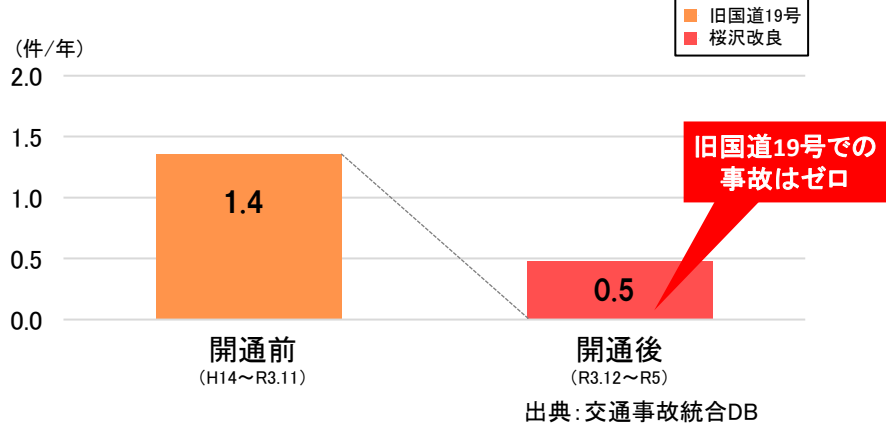
③安全な交通の確保

- 旧国道19号(市道旧国道片平桜沢線)は、線形不良箇所が4箇所存在し、衝突事故や追突事故等が多く発生し、事故に伴う交通規制も実施していました。また冬季には路面凍結によるスリップ事故も発生しました。
- 桜沢改良の開通後、線形不良区間を回避することができるようになり、事故発生件数が減少し、安全な交通が確保されました。

●旧国道19号の線形不良区間



●死傷事故件数の推移



●開通前の道路状況

旧国道19号は、線形不良区間が存在し、路外逸脱や横転事故が発生



●開通後の道路状況

緩やかな線形への改善及び、トンネル区間の整備により、年間を通じた走行安全性が向上

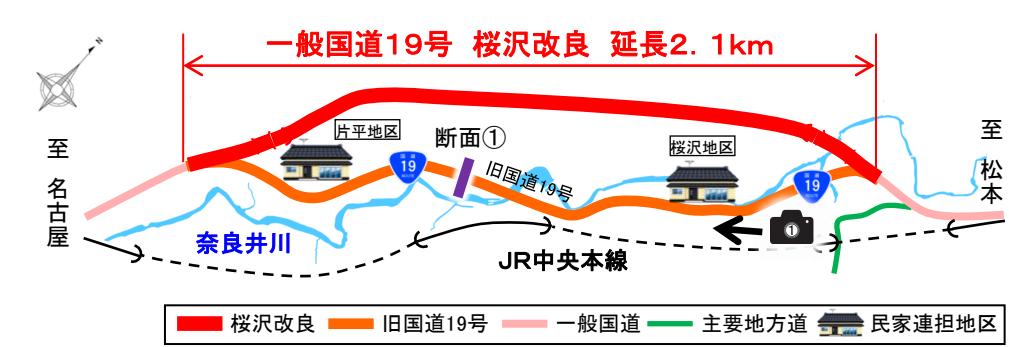


3. 社会経済情勢の変化

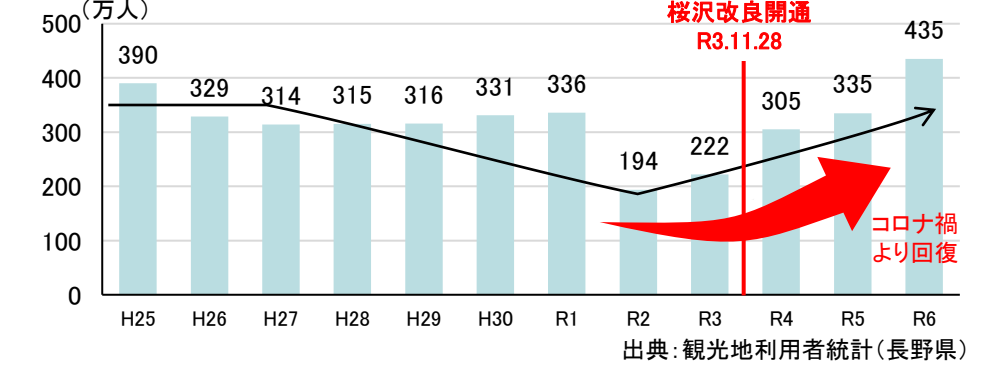
(1) 沿線の生活・交通環境の改善

- 旧国道19号(市道旧国道片平桜沢線)には民家が連担し、地域住民の生活道路として旧国道19号が利用されています。
- 旧国道19号(市道旧国道片平桜沢線)の夜間の交通量は約2,400台、大型車混入率が40%でしたが、開通後は交通が桜沢改良区間へ転換したことにより地域の生活環境が改善しました。
- 旧国道19号から桜沢改良区間へ交通量が転換したことにより、ウォーキングコースにおける安全性向上にも寄与しています。

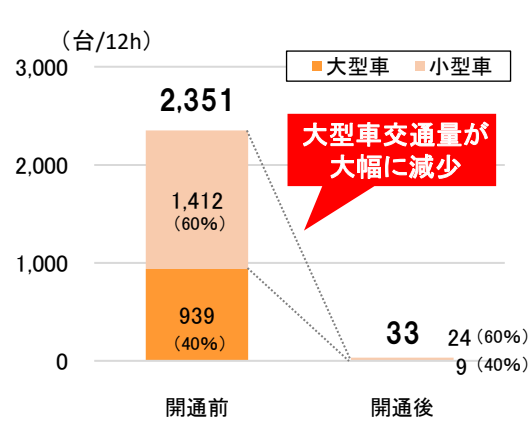
●旧国道19号区間の民家連担状況



●木曽地域の観光客数の推移



●旧国道19号の交通量(夜間)と大型車混入率の変化(断面①)



●地域住民の声

桜沢改良ができて旧国道19号を大型車が通行することがなくなり静かになりました。

出典: 地域住民ヒアリング (R4.4.27)

●旧国道19号を活用した中山道のウォーキングツアー実施状況

【ウォーキングコース】

Map showing the walking course along the old National Route 19. The course starts at the Nagaike River (奈良井川) and ends at the Matsubara (松本). The improved section (桜沢改良区間) is highlighted in red.

【ツアー概要】

中山道木曽路を数日に分けてウォーキング
・贅川宿や奈良井宿といった木曽11宿や、寺社・資料館へ立ち寄りながら、中山道を歩く

ツアー名	催行月	桜沢を通過する行程の発着地
街道を歩く2022	9月	贅川駅→洗馬駅
中山道をあそぶ	9月	塩尻→藪原
日本遺産・中山道木曽路街道歩き	4月	日出塩→木曽平沢

※大型車混入率 長野県直轄国道平均: 29%
出典: 交通量調査結果(開通前: R3.11.16、開通後: R4.7.7)

4. 対応方針(案)

(1) 今後の事後評価の必要性

- 一般国道19号桜沢改良は事業が完了しており、整備目的通りの効果が発現していることから、今後の事後評価の必要はないと考えます。

(2) 改善措置の必要性

- 一般国道19号桜沢改良は、整備目的を達成していると判断できるため、改善措置の必要はないと考えます。

(3) 計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性

- 現時点では、同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直し等の必要性はないと考えます。